

ロック

2018 年本試

問 2 ロックの社会思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 各人は、公共の利益を目指す一般意志に服従して、すべての権利を国家に譲渡するが、国家がこの一般意志を実現することで、各人の権利は保障されることになる。
- ② 知識や理論は、人間が環境によりよく適応していくための道具であり、我々は、創造的知性を用いることによって社会を改善し、理想的な民主社会を実現することができる。
- ③ 各人が利己心に従って自分の利益を自由に追求すれば、おのずから社会全体の利益は増大するが、これは、「(神の)見えざる手」の導きによるものであると考えられる。
- ④ 国家による権力の濫用を防ぎ、権力がその役割を公正に果たすためには、立法権や行政権(執行権)などが一定の独立性をもって互いを制約する、権力の分立が必要である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	30	④	3

2018 年追試

問 3 社会契約説を唱えたホッブズとロックの思想の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① ホッブズによれば、人間は、自然状態では、自己保存の欲求に基づいて自由に行動をするので、互いに ^{おおかみ}狼 のように争ってしまう。そこで、互いの安全を図るため社会契約を結ぶ必要がある。
- ② ロックによれば、人間は、他人を思いやる良心をそなえているので、内的制裁によって利己的な行為を抑えるものである。しかし、それだけでは自然権の保障は確実ではないため、社会契約を結ばなければならない。
- ③ ホッブズによれば、自然権を譲渡された個人ないし合議体は、リヴァイヤサンのような強大な権力をもつべきである。そして、人民はこの権力に服従しなければならない。
- ④ ロックによれば、最高権力である主権はあくまでも人民にある。それに対し、政府の役割とは、もともと人民のもつ、生命や財産などの権利を保障することである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	②	3

問 5 次のア～ウは，経験に知識の源泉を求めた思想家の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

33

ア 事物が存在するのは，私たちがこれを知覚する限りにおいてであり，心の外に物質的世界などは実在しないと考え，「存在するとは知覚されることである」と述べた。

イ 私たちには生まれつき一定の観念がそなわっているという見方を否定し，心のもとの状態を白紙に譬えつつ，あらゆる観念は経験に基づき後天的に形成されるとした。

ウ 因果関係が必然的に成り立っているとする考え方を疑問視し，原因と結果の結び付きは，むしろ習慣的な連想や想像力に由来する信念にほかならないと主張した。

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ① ア ヒューム | イ ベーコン | ウ バークリー |
| ② ア ヒューム | イ ベーコン | ウ ロック |
| ③ ア ヒューム | イ ロック | ウ バークリー |
| ④ ア ヒューム | イ ロック | ウ ベーコン |
| ⑤ ア バークリー | イ ベーコン | ウ ヒューム |
| ⑥ ア バークリー | イ ベーコン | ウ ロック |
| ⑦ ア バークリー | イ ロック | ウ ヒューム |
| ⑧ ア バークリー | イ ロック | ウ ベーコン |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	33	⑦	3

2016 年追試

問 4 次のア～ウは、社会や国家に関する思想について記述したものであるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

32

ア 人間は本来、各人の生命・自由・財産の所有に対する権利をもつ。この権利を保障するために人間は国家を形成するが、国家が権力を濫用する場合には、それに抵抗し革命を起こす権利をもつ。

イ 国家の権力は、立法権・行政権・司法権の三つに分けられる。このように三権を分けることで、権力の集中と濫用を回避し、政治的自由の実現が可能になる。

ウ 公共性の領域は、人々が言葉を通じて関わり合う「活動」によって担われる。だが、近代社会では、「仕事」や「労働」が、「活動」の領域を侵食し、公共性が蝕むしばまれた結果、全体主義が生み出された。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|---------|---|---------|
| ① | ア | ホッブズ | イ | モンテスキュー | ウ | アーレント |
| ② | ア | ホッブズ | イ | モンテスキュー | ウ | ホルクハイマー |
| ③ | ア | ホッブズ | イ | ヴォルテール | ウ | アーレント |
| ④ | ア | ホッブズ | イ | ヴォルテール | ウ | ホルクハイマー |
| ⑤ | ア | ロック | イ | モンテスキュー | ウ | アーレント |
| ⑥ | ア | ロック | イ | モンテスキュー | ウ | ホルクハイマー |
| ⑦ | ア | ロック | イ | ヴォルテール | ウ | アーレント |
| ⑧ | ア | ロック | イ | ヴォルテール | ウ | ホルクハイマー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	32	⑤	3

2014 年追試

問 2 ロックの思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 人間の心は、生まれた当初の状態では白紙(タブラ・ラサ)のようなものであり、知識はすべて科学的な思考に由来するとした。
- ② 自然状態は、人々の間に自由と平等が完全にいきわたった理想状態であり、財産の所有といった自然権も侵されることはなかったと考えた。
- ③ 文明の進歩とともに自然状態が崩れたため、人々は自然権を一人の人間もしくは合議体に譲渡し、強大な権力による保護を求めたとした。
- ④ 人々が政府に統治を委ねるのは、自然権の保障のためであり、政府が権力を濫用する場合、人々は抵抗や革命を行う権利をもつと考えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	30	④	2

2012 年本試

問 8 身体と所有に関する次の文章を読み，そこから読み取れる内容として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。 29

たとえ，大地と，すべての下級の被造物とが万人の共有物であるとしても，すべての人は，自分自身の身体については所有権をもっている。……彼の身体の労働とその手の働きとは，まさしく彼のものであると言ってよい。したがって，自然が準備し，そのまま残しておいたものから，彼が取り出すものは何であれ，彼はこれに自分の労働を混合し，何か自分自身のものをつけ加えたのであって，このようにしてそれを自分の所有物とするのである。……この労働は労働した人の疑いもない所有物なのであるから，少なくともほかに共有物として他人にも十分に，そして同じようによいものが残されている場合には，ひとたび労働がつけ加えられたものに対しては，彼以外の誰も権利をもつことができないのである。

(ロック『統治二論』)

- ① 自分の労働による所有は認められるが，それによって他の人が所有することを大きく妨げるようなことがあってはならない。
- ② 自分の労働による所有は認められるが，生産手段を所有して他の人を支配するといった権利をもつことはできない。
- ③ 自然は人々の共有物であるが，身体を用いて自然に対して労働を付加することによって，所有物への権利が発生する。
- ④ 自然は人々の共有物であるが，自然に対する労働を生み出す身体そのものは共有物ではない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	29	②	3

2011 年本試

問 6 ロックの寛容思想の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 教会は必ずしも相互に平等であるわけではなく、為政者がどれかの教会の一員であれば、その教会は他の教会に対して支配権をもつ。
- ② 世俗社会の平和と秩序を維持するためには、人々は君主の信奉する宗教と同じ宗教の信徒となって統治に協力することが義務づけられる。
- ③ 各人の魂と天上のことについての配慮は、全く各人自身に委^{ゆだ}ねられた事柄であり、決して政治的権力によって強制されてはならない。
- ⑤ 教会は、為政者が参加することによって剣の力を獲得し、為政者が去ることによってその教会の成員に対する教化と破門の権利を失う。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	28	③	3

2010 年本試

問 2 自然状態に言及している思想家たちの著作の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 『リヴァイアサン』には、自然状態にある人間は一般意志に従い自由で平和に暮らしていたとある。
- ② 『統治論（市民政府論）』には、自然状態は理性的な自然法が支配する平和な状態だとある。
- ③ 『人間不平等起源論』には、自然状態における人間の一生は「きたならしく、残忍で、しかも短い」とある。
- ④ 『社会契約論』には、自然状態は各自が自己保存の権利を よこ恣意的に追求する闘争状態だとある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問2	32	②	3

2008 年追試

問 3 『統治論』（『市民政府論』）に関する説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 自然権保障のため市民が信託した権力を政府が行使するという立場から，王権神授説が批判される。
- ② 人民主権の立場から，一般意志の行使である主権は分割も譲渡もできないものだと言張される。
- ③ 様々な国や時代の法律が実証的に比較され，立法，行政，司法の三権分立論が展開される。
- ④ 統治階級の哲人が他の防衛者階級や生産者階級を統治すべきだとする，哲人政治が主張される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	26	①	3

2005 年追試

問 3 ロックについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 確実な原理を見いだすためにすべてのものを疑い，感覚や外界の实在はもちろん，数学的知識の確実性も疑った。
- ② あくまでキリスト教的な精神世界にとどまりながらも，貴族や教会の愚行を風刺して，人間の尊厳と自由意志を主張した。
- ③ 人間とは，無限に対しては虚無であり，虚無に対してはすべてであり，人間は無とすべてとの中間であると考えた。
- ④ 人間の心は白紙のようなもので何も書かれておらず，知識は経験によって得られるものであると考えた。

問 4 国家に課される寛容の義務と教会に課される寛容の義務の内容として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 国家は個人への参政権を制限してはならず，教会は個人の信仰を指導してはならない。
- ② 国家は個人の利益追求を妨害してはならず，教会は個人相互間の商取引に介入してはならない。
- ③ 国家は個人の信仰に干渉してはならず，教会は国家が行使する統治権に干渉してはならない。
- ④ 国家は個人の職業選択に干渉してはならず，教会は個人を教会から破門したり追放したりしてはならない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	④	3
第 2 問	問 4	14	③	3

2004 年本試

問 5 様々な思想家が自由主義社会を理論的に擁護してきた。ロックの自由主義理論の記述として最も適当なものを、次の①～⑦のうちから一つ選べ。 15

- ① 野生生物の世界で、劣弱な個体が淘汰されることによって種の繁栄が維持されるように、人間社会も、自由な競争と個々人の自助的努力に委ねられることによって進歩する。救貧政策は、この進歩を遅らせるだけである。
- ② 人民の権利には、民衆が国家から勝ちとる権利と上から民衆に恵み与えられる権利とがある。為政者が権力を振りかざし、自由権を民衆に返そうとしないから、民衆が動乱を起こして権利を回復しようとするのである。
- ③ 社会契約において各人は、自らの身体とあらゆる力を一般意志の指揮に委ねることによって、自然的自由と引き換えに社会的自由を獲得するだけでなく、人間を自己の真の主人へと高める精神的自由を得ることができる。
- ④ 人々が社会の利益を増大させようと意図する場合よりも、自己利益を追求する方が、より効果的に社会の利益を増大させることがしばしばある。それが実現するためには、完全な自由競争が行われなければならない。
- ⑤ 自己の身体、^{ちえ} 智慧、情欲、至誠、意思の五つを自在に働かせることは、個人の独立にとり不可欠である。これらを自在に行使しても、他者の同様の自由を妨害しないかぎり非難されることはなく、各人の権利の範囲内に属する。
- ⑥ 生命、自由、身体および労働は各人の所有物であり、このことにつき各人は他者に何も負っていないから、自らの労働の所産も本人の所有物になる。国家の最高権力といえども、本人の同意なしには誰からも所有物を奪えない。
- ⑦ 秩序ある社会においては、各人は、最も^{こゝろほん} 広汎な基本的諸自由への平等な権利をもたなければならない。社会経済的な利益が不平等に分配される場合にも、社会で最も不遇な人々の便益が可能なかぎり考慮される必要がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	⑥	2

2003 年追試

問 3 ロックの思想を表す記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 本来，自由で平等な人間は，平和と自己防衛のために必要なことであると考えて，すべての権利を一個人，あるいは合議体に与えることによって政府を設立した。
- ② 本来，自由で平等な人間は，自分たちの所有権を守るため，戦争状態から脱出しようとして，理性の理念に従い，法を受け入れることによって政府を設立した。
- ③ 本来，自由で平等な人間は，自分たちの所有権を守り，平和な生活を維持していくために，政治社会をつくることに互いが同意することによって政府を設立した。
- ④ 本来，自由で平等な人間は，身体や財産を守るために，自分の属する共同体の共通の意志に対して，自分たちの権利を全面的に委^{ゆだ}ねることによって政府を設立した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	14	③	3